

事業概要	銀行業 預金・貸出・内国為替・外国為替・その他付随業務
部署	経営企画グループ経営企画チーム
所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号
連絡先	(電話番号)0776-25-8004 (E-mail)fbk00101@fukuibank.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<ul style="list-style-type: none">● 企業理念である「地域産業の育成・発展」と、地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」に基づき、環境省ローカルSDGs(地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築)の目的を、企業行動(経営企画・事業計画)に繋げる。● 繋げた企業活動を通じて、地域企業の支援 ⇒ 地域経済の発展の好循環を創出することで、持続可能な循環共生型の社会を実現させていく。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	<p>分野 資金調達／その他(コンサルティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDGs私募債 2019年10月より、SDGsの「地域」への浸透を図るべく、「ふくぎんSDGs私募債」の取扱いを開始。適債基準を満たしたSDGsへの取組みについて賛同を得られる企業を対象とし、私募債発行企業から徴求する手数料の一部を原資に物品を購入し、SDGsへの取組みが行われている団体等(幼稚園、保育園、小・中学校、高校、大学、医療・福祉施設、公益的な活動を行う法人や団体)に寄贈を行う仕組み。 ● 事業承継、コンサルティング業務 地域経済の担い手である中小企業の事業継続・発展・承継支援などを強化するため、2018年にコンサルティンググループを創設。傘下のコンサルティングチームには、外部機関での研修を積んだスペシャリストを配置し、資金調達以外でもお客さまの課題解決のための支援(M&A・事業承継・仲介・創業・マッチング)を展開。
URL	<p><SDGs私募債> https://www.fukuibank.co.jp/business/financing/sdgs/_bonds/ <事業承継・コンサルティング業務> https://www.fukuibank.co.jp/aboutus/other/community/pdf/consulting.pdf</p>
上記ソリューションを提供できる地域について	福井県、石川県、富山県
自者の特徴	※別紙参照
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—

福井県内の自治体との連携状況	
越前市 (H27.2.20)	福井市 (H27.6.24)
勝山市 (H27.7.21)	大野市 (H27.7.29)
小浜市 (H27.8.5)	敦賀市 (H27.8.10)
美浜町 (H27.9.2)	永平寺町 (H28.6.28)
坂井市 (H28.10.5)	高浜町 (H29.1.23)
あわら市 (H29.5.23)	越前町 (H29.8.25)
鯖江市 (H29.4.18)	南越前町 (H30.2.20)

公的(支援)機関、民間大手との連携	
福井大学	福井工業大学
福井県立大学	ふくい産業支援センター
福井県工業技術センター	福井商工会議所
福井県商工会連合会	福井県中小企業団体中央会
官民連携ファンド	政府系金融機関
民間都市開発機構(MINTO)	メガバンク
大手ディベロッパー	大手コンサルタント
大手商社	大手法律事務所 等々

14市町との連携協定

福井銀行

アライアンスを構築

地域金融機関として「産学官金」による連携・総合的取組みを支援

<コンサルティングメニュー>

事業戦略

- 創業・開業サポート
- リース活用
- 事業承継・M&A
- 法人保険
- 各種補助金活用
- 経営改善
- 医療・介護サポート

販路開拓 事業拡大

- 海外ビジネスサポート
- ビジスマッチング・商談会
- インターネット活用サポート

業務効率 生産性 向上

- 経理・会計事務の効率化
- キャッシュレスによる事務効率

人材発掘 人材育成

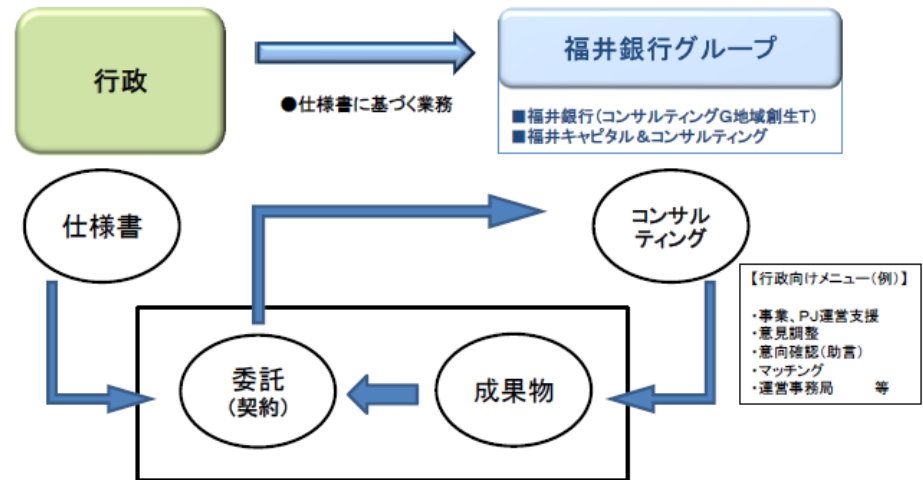
- 人材発掘
- 人材育成

地域 創生

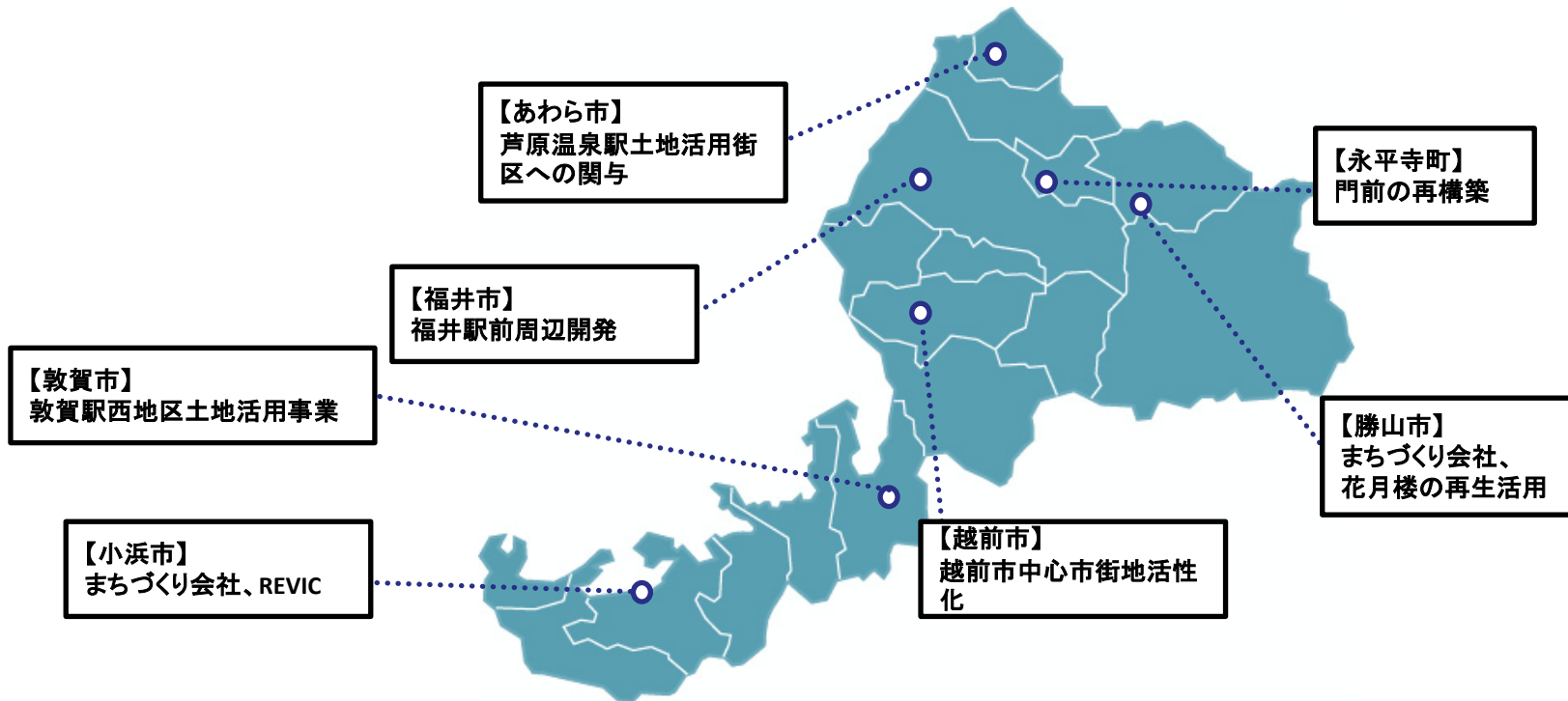
新たな有償メニュー

対象は・・・
県・市町・大学・各種団体 等々

- まちづくり・観光・地域ブランドの創出
- 地域産業の振興と雇用の維持・拡大
- 移住・定住やUIJターンの促進



各市町連携によるまちづくりへの参画



ふくい地域プラットフォーム

- 具体的な案件について、官民対話による事業可能性の検討
- 事例研究を通じた官民双方のノウハウ取得機会の提供
- コンソーシアム形成に向けたやる気ある県内民間事業者の発掘と実践力要請

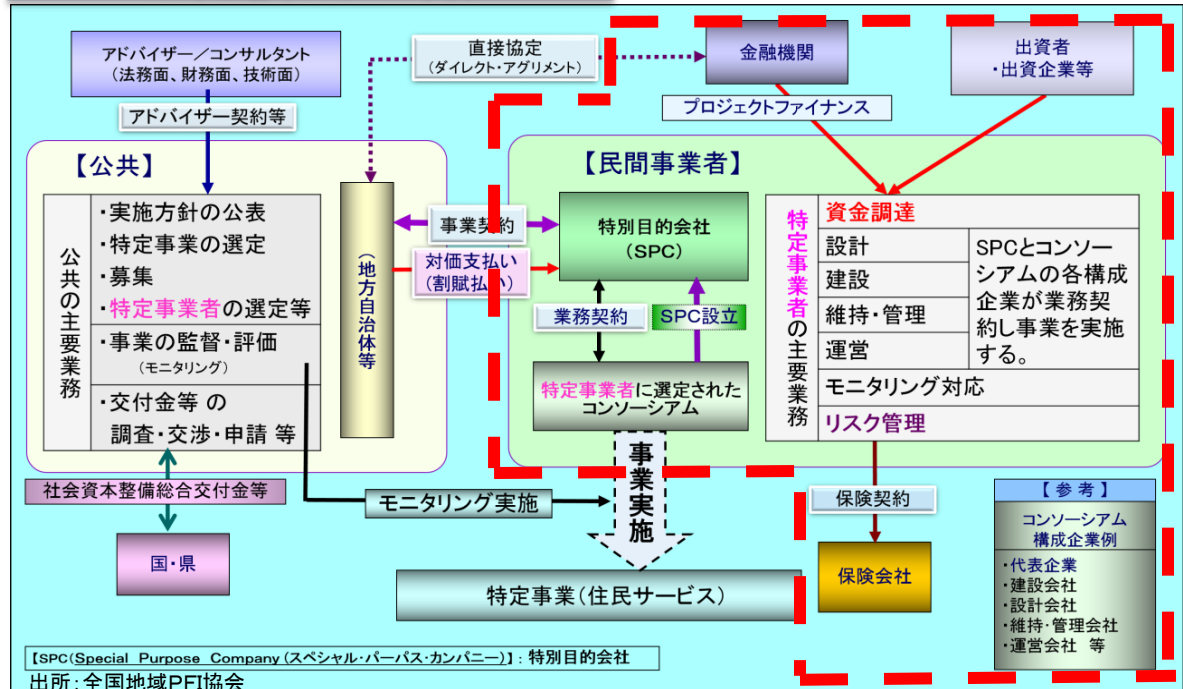


分科会「民間事業者向け実践講座」

- 基礎知識の習得
- チーム編成
- 提案書作成の基礎講座



PFI事業基本スキーム事例



県内企業を主体としたコンソーシアム形成支援



【SPC(Special Purpose Company(スペシャル・パーパス・カンパニー)】: 特別目的会社
出所: 全国地域PFI協会

福井駅西口周辺エリアの再開発・活性化



■ ユアーズホテルフクイの建替え計画に合わせて、周辺一帯の再開発を支援します。

■ 人口減少社会の中でも、魅力ある「まちづくり」を目指します。

■ 「まちづくり」の流れを、周辺のまち全体へ波及させていきます。

北地区準備組は、三角地帯の約17年8月に予定。地権者意向調査を重ねてきた。帯全体(約8300平方メートル)の加入率が十分水準に届か。関係者による、基本計画を再開発の検討対象として、未加入の地権者も含めた。三角地帯全体が対象で、それが

福井駅西口「三角地帯」

福井の「R福井駅西口の中央大通りと福井駅前電車通り」に挟まれた「三角地帯」の再開発で、地権者による「駅前電車通り北地区市街地再開発準備組合」は目下、まちづくりの方針や事業内容を盛り込む基本計画の内容を固めた。北地区準備組合の事業区域は、三角地帯のうちユアーズホテルフクイの一角に絞り、ホテルやオフィスで構成する複合ビルを建設する。三角地帯の西端に当たる通称「丸の内」区域では、地権者が別の準備組合を設立し、再開発に取り組み。計画対象エリア内(二つ)再開発を併行させながら、一体的なまちづくりを目指す。(細川善也)



北地区準備組合は30日に臨時総会を開き、事業区域の変更を正式に決める見通し。北地区準備組合の事業内容は、これまで構想として挙げていたホテルやオフィス、ホール、マンション、商業などを併せ、丸の内区域の地権者は、再開発に伴って統合して2017年設立の協議会を準備組合に移行させて、事業内容を具体化しているという。

再開発2事業併存へ

北地区準備組合 基本計画固める

複数の未加入者がいる丸の内の約1100平方メートルは、地元や従来から独自に協議されていた再開発構想を生かすため、別事業として位置づけた。両事業に含れない一部区域は、将来的な個別建て替えが想定されている。

ユアーズホテル建て替え軸に

再開発計画 福井銀が支援

福井駅「まち全体に波及」



北陸新幹線の案内延伸を見据え、福井銀行の支援により再開発を目指す「R福井駅西口のユアーズホテルフクイ周辺区域」2015年11月25日(本社へリから撮影)

北陸新幹線の案内延伸を促す。福井銀行、本居福井市市長の支援で、ユアーズホテルフクイの建て替えと丸の内区域の再開発を目指す。この計画は、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。



ユアーズホテルフクイ 1997年竣工。高層ビルが密集する丸の内区域の再開発は、丸の内ビルディングの建て替えと併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。

NEWSの言葉

再開発を目指す建設現場は、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。ユアーズホテルフクイの建て替えは、丸の内区域の再開発と併行して進められる。

敦賀駅西地区土地活用事業

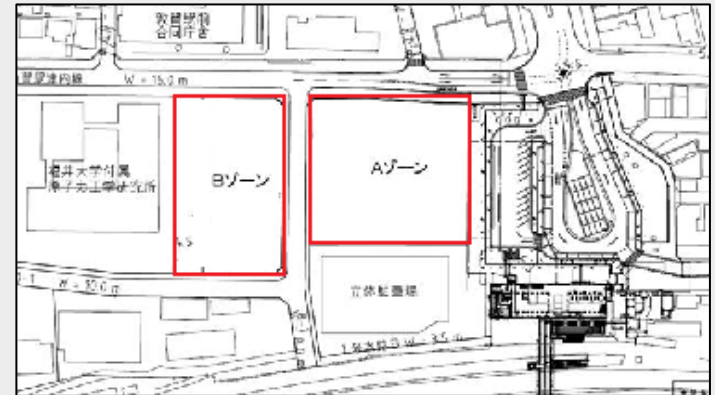
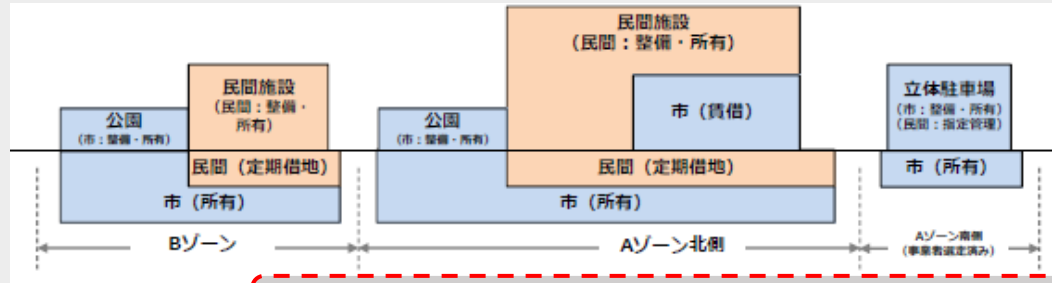
【事業スキーム】

- ・敦賀市が所有する土地 約7,975㎡を民間事業者が賃貸(一部買い取り可)し施設建設、運営を行う。
- ・施設の一部を敦賀市が借り受け、公共機能を設置する。

【必須機能】

- ・宿泊機能 ビジネス客及び観光客に配慮した施設整備運営。客室100室以上。
- ・商業施設 飲食店は必須。海産物を提供する等、敦賀市及び嶺南地区等の周辺地域を知る・楽しめる・体験できる施設。

事業スキーム図



◆公募結果

★県内企業を含めたコンソーシアム形成支援を実施

* 2018年10月26日時点 **5応募者**が参加資格審査申請

出所:敦賀市HP

* 2019年1月17日 **優先交渉権者 決定 資金対応に向け連携開始**



福井 2019. 2. 19



あわら市との連携事業 「駅西口エリア活用促進協議会」

- 2023年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けた駅及び駅周辺整備事業
- 「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」土地活用検討街区は民間事業者による開発を目指す区域。
- 2018年9月 地権者による協議会を設立。福井銀行が運営事務局を受託。
 - ①地権者の意向調査、②地権者の合意形成、③事業候補者の選定
- 受託実績
 - 2018年度:5百万円 2019年度:10百万円 2020年度:15百万円(予定)

芦原温泉駅西口の再開発

来月、協議会を発足 地権者と市、福井銀

あわら市は「1月1日」で、より有効な活用用地をR芦原温泉駅西口の再開発に向け、土地活用検討街区(「地権者八人」と市、協議会、城戸協政権者)が民間事業者の意向調査やまちづくりのノウハウを生かし、事業者の選定、協議会の設立を提議し、今月十日までに全員から参加の返答を得た。

「駅西口エリア活用促進協議会」(仮称)の名称は千百万円。七月に市側が対象エリアを暫定的に「まちづくりプラン」



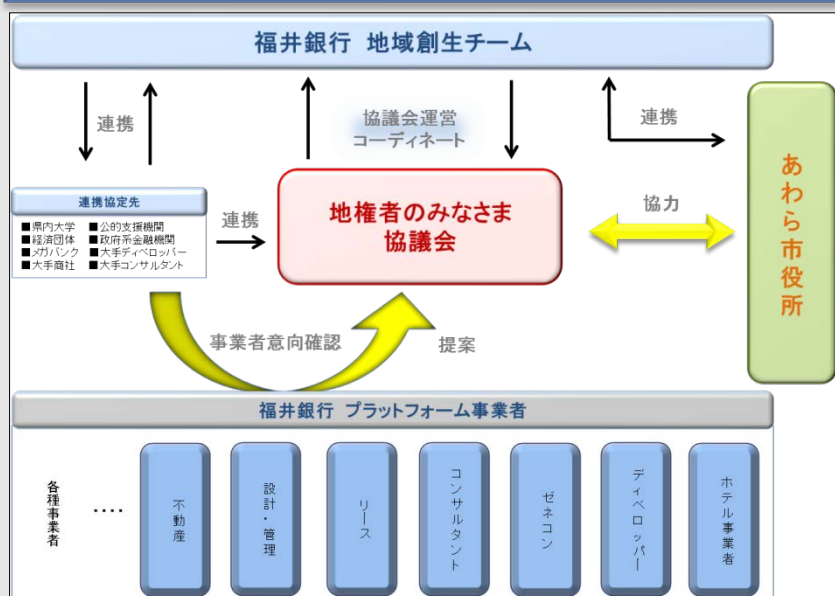
間主簿のエリアとしていた。これに対して佐々木康男市長は「民間事業者の意向を打合わせるが、市が第一として市の関与を求め、思考を止めるわけではな

2023年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けた、市では、市側からは、芦原温泉駅西口から駅前協議会が、民間事業者は、民間事業者による意向調査やまちづくりのノウハウを生かし、事業者の選定、協議会の設立を提議し、今月十日までに全員から参加の返答を得た。

1. 交通結節点、魅力情報発信の機能強化
2. 商民と協賛者の高い、賑えるエリアの整備
3. 駅西口駅前広場の整備
4. 駅西口駅前広場の整備
5. 駅西口駅前広場の整備

出所:あわら市HP

協議会運営 コンサルティングスキーム図



芦原温泉駅周辺まちづくりプラン

福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい空間」に!!
～芦原温泉駅周辺まちづくりプラン～



【三國湊町家再生まちづくり支援】

三國の地域活性化応援

坂井アーバンセンター発足

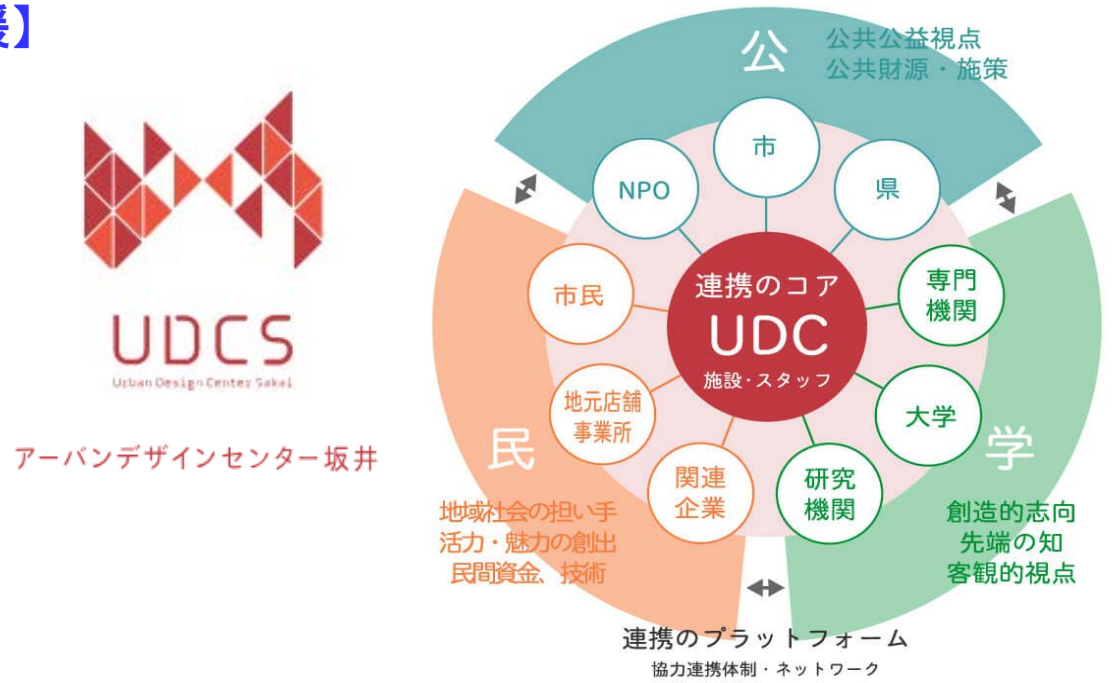
坂井市三國町地域を中核とし、人口減少による地域の課題を解決する行政・民間企業・大学が連携し、まちづくりを推進する「坂井アーバンデザインセンター」が正式に発足した。坂井市は、全国17番目に「アーバンデザインセンター」を設立した自治体であり、会費や地域への支援を希望する市民も増加している。

坂井市三國町の築100年を誇る「アーバンデザインセンター」の運営を担う「UDCS」の設立を記念して、坂井市三國町のまちづくりを推進する「坂井アーバンデザインセンター」が正式に発足した。坂井市は、全国17番目に「アーバンデザインセンター」を設立した自治体であり、会費や地域への支援を希望する市民も増加している。

が旧市街地の築100年を誇る「アーバンデザインセンター」の運営を担う「UDCS」の設立を記念して、坂井市三國町のまちづくりを推進する「坂井アーバンデザインセンター」が正式に発足した。坂井市は、全国17番目に「アーバンデザインセンター」を設立した自治体であり、会費や地域への支援を希望する市民も増加している。

UDCS
Urban Design Center Sakai

アーバンデザインセンター坂井

出所:アーバンデザインセンター坂井HP



三國湊町家活用プロジェクト事業

- ◆空き家・空き地の回収と活用
- 1. 公募物件
 - ①和泉金物店蔵
 - ②塚本邸
- 2. アレックス・カー氏プロデュースによるゲストハウス
 - ③田中薬局店
- 3. 街中拠点づくり (歴史文化×伝える×発信する×集う)
 - ④三國湊座奥
 - ⑤下新公園
- 4. 歴史的建造物の保存
 - ⑥雲乃井